

景況レポート・10月

10月の県内景況は、前月から引き続き曇り模様。

情報連絡員による平成25年10月の県内中小企業の景況は、業界全体として「低調」とするところが42.4%（前月比+10.7）、「横這い」は30.5%（同-9.5）、「好況」は27.1%（同-1.2）となっており、業界全体の「景況感DI」は-15.3（同-12.0）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「売上高」「販売価格」「収益状況」「雇用人員」が前月と比較して減少しています。

◇「取引条件」「資金繰り」「設備操業度」が前月と比較して改善しています。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、木材木製品製造業、その他の製造、建設業は「快晴」または「晴れ」、食料品製造業、繊維製品製造業、鉄工機械製造業、卸売業、商店街、サービス業、運輸業は「薄曇り」または「曇り」、その他の業種は「雨」となっています。

※DI値 +30以上「快晴」 +10～+30未満「晴れ」 -10～+10未満「薄曇り」

-30～-10未満「曇り」 -50～-30未満「雨」 -50以上「大雨」

3. 個別の報告の概要

◇食品製造業、卸売業、小売業より、商品価格の値上げによる懸念の声が上がっています。

◇卸売業、建設業、運送業より、雇用人員の不足の声があります。

来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が18.6%（前月比-8.1）と減少しております（好転の回答0件、やや好転の回答11件）（製造業6、非製造業5）。また、やや悪化、悪化の見込みは、20.3%（前月比-4.7）と減少しております。変わらないが、61.0%（前月比+12.7）と増加しております。

平成25年9月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率98.3%）

木材・木製品製造業

<製材業>

台風の影響で丸太の出材は少なめの一方で住宅着工は堅調に推移していることからスギ丸太を中心に価格の上昇が続いている。製品の荷動きは住宅着工増を背景に活発であるが、製品価格には依然として反映されておらず、製材所はコスト上昇分を吸収しきれずに厳しい経営を強いられている。

<外材輸入>

製材品の荷動きは引き続き順調に推移している。しかし年初来の為替円安により外材全般の輸入コストは上昇し、製品価格に転嫁しつつ販売しているが天井感が出ており一進一退の展開となっている。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<鉄工>

（県中地区）

機械加工、部品製造は価格等なかなか厳しい。

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、見積もり引き合いは前月同様横ばい傾向で推移している。売上高・収益状況は、今後も引き続き厳しい状況で推移していく模様である。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール箱>

現在、経済の回復傾向にあるものの、我々紙器業界の現況はまだまだ景気回復の兆しは感じられない。年末に向けて景気上昇を期待している。前年同月と比較しても変わらず、むしろやや悪化している。

小売業

<共同店舗>

（県中地区のNショッピングセンター）

各種の値上げにより、粗利確保が困難になりつつある。売上こそ大きく落ちてはいるが、売上を確保しながらの粗利額捻出が今後の課題となる。須賀川地区グリーンモール跡地に新店のヨークタウン（9月オープン）の勢力が徐々に影響してきているようにみられる。

<石油>

10月元売の仕切価格が週変わり乱高下し、トータルでは上昇となった。しかしながら前月の販売価格を下回る小売価格になり、マージンが大幅に減少する厳しい経営状況となった。また、全体の販売量も悪天候の影響により減少している。

<青果>

前月同様、野菜等の品薄の状態が続き、単価の高騰がみられた。9月後半から始まった山菜類が県産物の放射能による規制のため、全く取扱できず、前年と比べると量も動かなかった。仕入れについては県外産のものを取り寄せて対応する動きがあった。その分、単価は高くなるが…。今月後半から始まる会津みしらず柿も生育は順調だが、どのくらい消費者離れを戻せるのか注目したい。

<電機>

合展、個展などでの売上高が販売店の格差が大きくなっている。今後この状態が続くと思われる。家電メーカーが住設、エネルギーにシフトしているように家電小売店もこの方面に力を入れないと今後厳しいと思う。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

展示販売会が重なり、その分共販所への供給量が減少し結果として売上が減少した。

<砕石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約10%の増
2. 当月売上高の昨年同月比 約15%の増
3. 今年度累計の昨年対比 約55%の増
4. 原因・状況 放射線除染工事関連の出荷が増となった。

<生コン>

平成25年10月の組合員生コン出荷数量は、168,995m³と対前年同月比10.1%の増。東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等補修工事での増加が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比4.9%の減、官公需が22.1%の増であった。

■民需の動向

対前年同月比 4.9%の減

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 4.9%の増

福島成蹊高校南校舎新築工事、ラコパふくしま新築工事等

<白河地区> 27.4%の増

工場、倉庫新築工事等

<会津地区> 0.9%の増

会津中央病院増築工事、老人ホーム新築工事等

②対前年同月比減少地区

<県中地区> 16.9%の減

郡山商工会議所新築工事、工場新設・増設工事等

<いわき地区> 18.9%の減

工場新築工事等

<相双地区> 1.9%の減

原発保安対策工事、常磐道浪江地区工事等

■官公需の動向

対前年同月比 22.1%の増

①対前年同月比増加地区

<県中地区>12.9%の増

再生可能エネルギー研究施設工事、東部幹線桜木地区橋梁整備等

<いわき地区>20.4%の増

小名浜港7号追悼地区岸壁復旧工事、小名浜西防波堤工事等

<相双地区> 82.2%の増

海岸保全施設整備工事、災害公営住宅新築工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 15.4%の減

栗子トンネル2期工事、国道115号霊山トンネル工事等

<白河地区> 19.1%の減

鏡石第一小学校改築工事、工場の森新白河造成工事等

<会津地区> 19.1%の減

鶴城小学校新築工事、会津北縦貫道路工事等

印刷業

<印刷>

業況の改善は見られず、受注量、販売価格など悪化している。

繊維・同製品製造業

<ニット>

秋冬物の受注が好評であるが、春夏物の市場の動きが悪く、今後心配である。

<縫製品>

全体的に受注量が少ない月で、休日にするとところが目立った。来春夏の展示会サンプルが例年より多く、今後の受注量増加に期待が持てる。

食品製造業

<漬物>

来春値上げをしなければ経営できない会社が増えている。円安が厳しすぎる。業界全体が値上げモードになっている。

<味噌醤油>

県内の味噌醤油出荷量は依然として低迷が続いている。製造コストアップも重なり厳しい状況。県内産原料使用状況も24年度より低下傾向にある。

<酒造>

復興イベントは少なくなってきたが、持ち直してきている。吟醸酒、純米酒が好調である。10月から値上げの商品もあり、今後売上減となることが不安である。25年産の原料米(酒造好適米)不足が一番の問題である。

<食品団地>

原材料の高騰が続き、今月から値上げをした品目もあり厳しい状況である。今後の消費動向から、多様な対応が求められており、価格転嫁や生産管理等の再検討が必要である。

運輸業

<トラック運送>

(県北地区)

報道によれば、円安修正で輸出採算が改善しているほか、高額商品の消費や企業マインドの改善など経済効果がでて一方、地域トラック運送業界では慢性的な需要不足、燃料費や高速道路料金の負担が大きく回復に遅れがみられる状況にある。

(県中地区)

新米の時期でもあり、全体的な物量の落ち込みは見られないが、ドライバー不足が続き自社で扱える荷物量は減ってきている。

<ハイヤータクシー>

前月に続き、対前月比、対前年比不変となったが、増加へはまだ厳しい状況。

サービス業

<旅館業>

(土湯温泉)

紅葉と芸術祭イベントで観光入込みはよかったといえる。ただし週末になると天候が悪くなっていったので、小売業の面では思いのほか伸びなかった。また、国道115号線の紅葉狩りの交通ラッシュが見られず、車両通行の流れが変わってきていると感じている。

<理容業>

厳しかった残暑も一段落し、朝夕はめっきり涼しくなりそれと同時に来店するお客様も減った。毎年のことだが、暑いとき短めに刈ったお客さまも涼しくなるにつれ少しずつ伸ばし始めるため来店頻度が落ちる。これはどのお店も同じ。忙しくなるのは12月の暮れまでない。夏の暑さで髪やお肌はダメージを受けているので、冬に向かってしっかりケアしておくことが大切。抜け毛の多い季節になるので、育毛メニューやヘッドスパ、肌の手入れ等アドバイスしながらお客様に喜ばれるよう頑張っていく。

<廃棄物収集運搬業>

相馬市においては震災関連の事業(がれきの処理)は平成26年3月で終わる予定です。短期的に良かった部分もありましたが、長期的には不安が残ります。今後、組合として長期プランの策定を検討したいと考えております。

建設業

<建設業>

(県一円)

公共工事における、特に福島県工事に対する、入札の不調が2割近く出ているのは、設計金額に対する採算割れと技術者等の労働者不足が起因している。

(県南地区)

除染業務の受注が多く、作業員不足、下請不足が続いている。通常の土木工事の発注が減少している。建設工事は民間住宅が増加している。

<管工事>

前月対比で給水設備・排水設備新申請とも減少。前年同月対比では給水設備申請が増加し排水設備申請が減少している。

<専門工事>

年末に向けて仕事のメに対する調整が入ってきた一方で、現場技術者の不足についてはやりくり自体が困難な状況が続いている。現場の実情を把握しない発注や、現実にはそぐわない現場単価が解消されない限り、企業運営としての不採算は解消されないと思われるし、年度内での予算消化も、工事進捗も見込めないのではないかとと思われる。質より量ではなく、「適正な質と量」を見直してほしいと感じる。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

急な冷え込みの影響から、全体として冬物商品の売上が加速した。消費増税に向けた、システム変更の意識が高まってきた。人手不足が依然改善されていない。業種によっては、正社員の採用もままならない状況。建築資材においては、駆け込み需要によって、資材の調達は今後さらに難しくなるとの声もあがっている。

<再生資源>

10月は度重なる台風の被害と観測史上まれにみる真夏日もあったが、少しずつ寒気が感じられるようになった。私たちの業界は相変わらず少ない再生原料を業者間が取り合いをしている状況であり、発生量の減少が響いている。輸出古紙に関しては、輸出価格が上昇しやや追い風となっている反面、円高基調で収益性はさほど伸びていない。

商店街

<福島市>

10月は、イベントとして「稲荷神社例大祭」(12日~14日)があり、人出が多く、当商店街においても「連山車」が行われ盛況ではあったが、その構成はほとんどが関係者であり、活気はあれども、商売には結びつかなかった。また、10月全般として、台風などの天候不順があり、若干人通りは少なかつたように思う。ただし、昨年と比較すると歩行者の構成がいわゆるビジネスマンではなく、普段着の人が目立つようになってきた。県外からビジネスでの来福者が減少し、観光や買い物客が若干ではあるが増加した感がある。

<郡山市>

集客が前年を上回っていたのは最初の一週間のみで、うすい百貨店の催事が終わり徐々に減少してきました。結局、集客力は現状では大きな催事次第ということになります。平常の日の集客をあげなければ、なかなか一カ月間の前年比増は難しい状況です。委員会ではサービスの付加価値を取り入れて、どのようなことができるかを検討し始めたところです。

<南相馬市>

地域商店街活性化事業も11月3日の歩行者天国買い物ポイント事業の大抽選会を実施して90%終了しました。6月から11月までの約半年間で抽選券も10,000枚発行し、当商店街をご利用いただいたお客様名簿もこれを基にできあがります。今後の販売促進イベントに生かしていきます。今年の歩行者天国は、大震災以降4回目ですが、人出は一番だったと思います。特に子供の姿が目につき、ほっとしています。

<会津若松市>

閉店から3年8カ月、会津中合のサテライト店がオープンしました。オープンセールはにぎやかだったようです。今後につながればいいと思います。

<いわき市>

先月が秋らしい気候に恵まれたのに対して、今月は暑かったり台風だったり、急に寒くなったりと不安定な天候であった。そのため9月に先取り感のあった秋物の動きが鈍く、後半にやっと本格的に動き出すが、時すでに遅し。恒例の“街なかコンサート”も日曜が雨で台無し。土曜の人出が多かっただけに残念。また、遅れて取り壊す店舗が数店あり、年末に向けてますます商店街もさびしくなっていく。

景況天気図 10月

天気図の見方

各景況項目について「増加」(または「好転」)業種割合から「減少」(または「悪化」)業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は右表のとおりである。

D・I値基準値

☀ 快晴	30以上	☁ 曇り	-30~-10未満
☀ 晴	10~30未満	☔ 雨	-50~-30未満
☁ うす曇り	-10~10未満	☔ 大雨	-50未満

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	☀ 28.57	☁ 0.00	☀ 14.29	☀ 14.29	☁ 0.00	☁ -14.29	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ -14.29	☁ -14.29	☁ 0.00	☁ -14.29
繊維製品製造	☀ 33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -33.33	☀ 33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 33.33	☁ 0.00
木材木製品製造	☁ 0.00	☀ 50.00	☀ 25.00	☀ 75.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 25.00	☁ 0.00	☀ 25.00	☁ 0.00	☀ 25.00
鉄工機械製造	☀ 20.00	☔ -40.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -40.00	☁ -20.00	☔ -40.00	☁ 0.00	☁ -20.00	☀ 20.00	☁ -20.00
その他の製造	☀ 28.57	☁ 0.00	☀ 28.57	☀ 42.86	☁ -14.29	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 14.29	☀ 14.29
卸売業	☁ -25.00	☔ -50.00	☔ -50.00	☁ 0.00	☔ -75.00	☔ -75.00	☁ -25.00	☁ -25.00	☀ 25.00	☀ 25.00	☔ -50.00	☁ -25.00
小売業	☁ -12.50	☔ -50.00	☀ 25.00	☁ -25.00	☁ 0.00	☔ -50.00	☁ -25.00	☁ -25.00	☁ -25.00	☁ -25.00	☁ -12.50	☔ -50.00
商店街	☁ 0.00	☔ -50.00	☁ 0.00	☔ -33.33	☔ -33.33	☔ -33.33	☔ -50.00	☔ -33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ -16.67
サービス業	☀ 42.86	☀ 42.86	☁ 0.00	☀ 14.29	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 14.29	☁ 0.00	☀ 14.29	☀ 14.29	☁ 0.00	☁ 0.00
建設業	☁ 0.00	☀ 60.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☀ 20.00	☀ 60.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☀ 20.00	☀ 60.00	☀ 20.00	☀ 60.00
運輸業	☀ 66.67	☀ 66.67	☁ 0.00	☁ 0.00	☔ -33.33	☔ -33.33	☔ -33.33	☔ -33.33	☔ -33.33	☔ -66.67	☁ 0.00	☁ 0.00

～税務署からのお知らせ～

平成26年1月から 記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

個人の白色申告者のうち前々年分あるいは前年分の事業所得、不動産所得または山林所得の合計額が300万円を超える方に必要とされていた記帳と帳簿書類の保存が、平成26年1月からは、これらの所得を生ずべき業務を行う全ての方(所得税及び復興特別所得税の申告の必要がない方を含みます。)について必要となります。

○対象となる方

事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方

※ 所得税及び復興特別所得税の申告の必要がない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります。

○記帳する内容

売上げなどの収入金額、仕入れやその他の必要経費に関する事項を帳簿に記載します。

記帳に当たっては、一つ一つの取引ごとではなく日々の合計金額をまとめて記載するなど、簡易な方法で記載しても良いことになっています。

○帳簿等の保存

収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や受け取った請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

記帳・帳簿等の保存制度や記帳の内容の詳細は、国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp>) に掲載されていますので、ご覧ください。詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせください。